

Platinum Series

Music-Program-TOKYO

Enjoy Concerts

プラチナ・シリーズA

© Gerhard Winkler



オーボエとハープで奏でる欧州名曲紀行

Hansjörg SCHELLENBERGER ハンスイェルク・シェレンベルガー & マルギット=アナ・シュース Margit-Anna SÜß

ハンスイェルク・シェレンベルガー (オーボエ/イングリッシュ・ホルン) Hansjörg SCHELLENBERGER, Oboe and English Horn
マルギット=アナ・シュース (ハープ) Margit-Anna SÜß, Harp

曲目 Program

C.P.E.バッハ：ソナタ短調 Wq.135 ~オーボエとハープのための	C.P.E.BACH: Sonata in g minor, Wq.135 for Oboe and Harp
J.S.バッハ：パルティータ短調 BWV1013 ~独奏オーボエのための	J.S.BACH: Partita in g minor, BWV1013 for Oboe Solo
シュポーア：幻想曲ハ短調 Op.35 ~独奏ハープのための	SPOHR: Fantasy in c minor, Op.35 for Harp Solo
J.S.バッハ：ソナタハ長調 BWV1033 ~オーボエとハープのための	J.S.BACH: Sonata in C major, BWV1033 for Oboe and Harp
サン=サーンス：ソナタニ長調 Op.166 ~オーボエとハープのための	SAINT-SAËNS: Sonata in D major, Op.166 for Oboe and Harp
ブリテン：『オウィディウスによる6つのメタモルフォーゼ』Op.49 ~独奏オーボエのための	BRITTEN: 6 Metamorphoses after Ovid, Op.49 for Oboe Solo
フォーレ：即興曲第6番変ニ長調 Op.86 ~独奏ハープのための	FAURÉ: Impromptu No.6 in D-flat major, Op.86 for Harp Solo
パスクッリ：ベッリーニへのオマージュ~イングリッシュ・ホルンとハープのための	PASCULLI: Omaggio a Bellini for English Horn and Harp

※当初発表しておりました曲目から、上記のとおり変更となりました。

* The program has been changed as above from the initial announcement.

2024年
(令和6年)

1月27日

土
Sat

15:00

開演 (14:30開場)
Start (14:30 Open)

東京文化会館 小ホール
Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

東京文化会館
Tokyo Bunka Kaikan

【9月23日(土・祝)発売】全席指定

S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円 25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円

※B席・25歳以下席は東京文化会館チケットサービスのみ取扱い。
※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※託児サービス(要予約・有料・定員あり・1/19(金)17時締切)があります。
イベント託児・マザーズ：0120-788-222

(公演詳細はこちら)



お申込み

» 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 t-bunka.jp
» チケットぴあ t.pia.jp
» イープラス eplus.jp/t-bunka/

「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお祝い」をお読みの上、ご来場くださいますようお願いいたします。t-bunka.jp/info/5673/



長らく世界最高峰のオーボエ奏者として活躍、近年は指揮活動も旺盛なハンスイェルク・シェレンベルガーが、オーボエの音楽史、演奏史を映し出す佳品を携え、プラチナ・シリーズの舞台に立つ。中止を余儀なくされた2022年春の公演が何と復活するのだ。華麗な名人芸もオペラに通じる歌心もお任せあれのシェレンベルガーは、カラヤン、アバド時代のベルリン・フィルを高みに導くソロ・オーボエ奏者だった。ファンのみならず、演奏家も憧れるヴィルトゥオーゾである。そんな名匠がこの楽器の古典たるバッハ親子に想いを寄せ、英オールドバラ音楽祭のために1951年に書かれたブリテンの無伴奏曲に腕をふるうのだ。ギリシャ神話の「登場人物」を文字通りメタモルフォーゼ(変容)させたブリテンをお聴き逃しなく。サン＝サーンスが客死する1921年に紡いだ傑作ソナタも公演のメインを彩る。あの妖しい調べが、フィナーレの軽やかな疾走、跳躍が早くも聴こえてくるかのよう。やはりベルリン・フィルから羽ばたいたミュンヘン出身のハーブの女王でシェレンベルガーの妻マルギット＝アナ・シュースの妙技も客席の喜びとなる。開演が待ち遠しい。

奥田佳道 (音楽評論家)

Music Program TOKYO
プラチナ・シリーズ

第5回 | 2024年2月23日(金・祝) 15:00 開演



大谷康子

～ヴァイオリンが歌う、至福の叙情詩～



© Masashige Ogata

© 奥村和泰

出演 大谷康子(ヴァイオリン) イリーナ・メジューエワ(ピアノ)

曲目 キュイ: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ニ長調 Op.84

キュイ: 『万華鏡』 Op.50より 第9曲「オリエンタル」

モネル: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第1番 短調 Op.21

バラキレフ: ヴァイオリンとピアノのための即興曲 ホ長調

ショスタコーヴィチ (H.グリクマン編曲): 3つの幻想的舞曲 Op.5

リムスキー＝コルサコフ (L.バイチ, M.フレッツベルガー編曲):

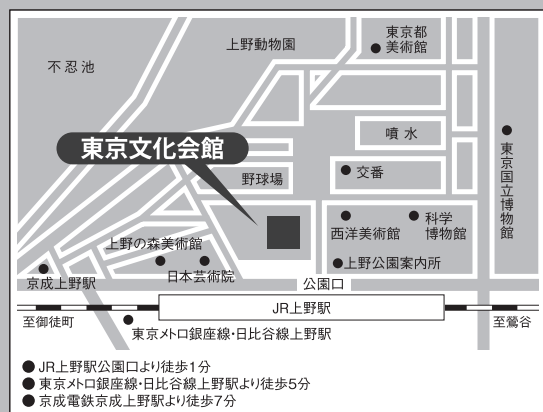
『シェラザード』 Op.35

チケット発売日: 10月21日(土)

全席指定

S 5,500円 A 4,400円 B 2,750円

25歳以下(全席共通/要証明書) 1,100円



© Gerhard Winkler

Hansjörg SCHELLENBERGER Margit-Anna SÜß ハンスイェルク・シェレンベルガー & マルギット＝アナ・シュース

ハンスイェルク・シェレンベルガー > 1948年生まれ。両親の影響で早くから音楽に強い興味を持ち13歳からオーボエを始める。その後、ミュンヘンとデトモルトでオーボエ、指揮法、そして数学を勉強。ケルン放響のソロ・オーボエ奏者を経て1980年1月から2001年夏までベルリン・フィルのソロ・オーボエ奏者を務める。現在は、ベルリン・シンフォニカの首席指揮者、マドリードのソフィア高等音楽院教授、3年に1回開かれる国際オーボエコンクール・東京の審査委員長を務めている。

マルギット＝アナ・シュース > ソリスト・室内楽奏者そして教育者として、国際的に活躍。伝説的なハーピスト ピエール・ジャメに大きな影響を受ける。20歳でNDRエルプフィルの首席ハーピストに就任。また、ホルスト・シュタインに誘われ、バンベルグ響のゲスト・ハーピストを務めたほか、ベルリン・フィルにもしばしばゲストとして招かれた。また、世界各地でマスタークラスを開催。2017年からはグラーツ国立音楽大学で教授を務めている。

Music Program TOKYO

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラムです。クラシック音楽を軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩な公演を実施する(Enjoy Concerts!)、海外の芸術機関や国内外の教育・社会福祉機関等と連携した(Workshop Workshop!)、そのほかの教育普及プログラムを(Music Education Program)として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信していきます。